令和7年度

第1回白石市総合計画·総合戦略推進委員会

- ●日時 令和7年9月4日(木)午後1時30分~
- ●場所 白石市防災センター会議室

次第

- 1 開会
- 2 協議
- (1)「第六次白石市総合計画」の令和6年度実施状況及び令和7年度の取組について
- (2) 白石市まち・ひと・しごと創生「第3期総合戦略」について
- (3) その他
- 3 閉会

★会議資料

- ・次第・名簿・委員会の役割
- ・資料1 「第六次白石市総合計画」「白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」 令和6年度実施状況
- ·資料 2 第六次白石市総合計画 重点戦略·分野目標別指標 評価一覧
- ・資料3 転入者アンケート結果
- ・資料4 転出者アンケート結果
- ・資料5 令和7年度の主な取組
- ・資料 6 白石市まち・ひと・しごと創生第3期総合戦略策定業務スケジュール
- · 資料 7 「地方創生 2.0 基本構想 | (概要)
- ・資料 8 地方創生 1.0 と 2.0 の比較表

(参考)

· 白石市総合計画 · 総合戦略推進委員会設置要綱

令和7年度白石市総合計画・総合戦略推進委員会委員名簿

	区分	団体等名称・役職	氏名
1	産業	白石商工会議所会頭	朝倉 秀雄
2	産業	白石市産業振興会議代表	佐藤全
3	産業	白石市観光協会長	佐藤善一
4	産業	白石市認定農業者	志村 竜生
5	教育	公立大学法人宮城大学事業構想学群教授	徳永 幸之
6	教育	白石市校長会長	石川 裕之
7	金融	七十七銀行白石支店長	高木 勇人
8	金融	仙南信用金庫業務推進部業務推進課長	堀田 康郎
9	労働団体	連合宮城仙南地域協議会白石地区会議事務局長	加藤 雅也
10	メディア	一般社団法人スポーツ・ラボ 理事長	児玉 聡
11	士業	中小企業診断士	佐藤 勝幸
12	議会	白石市議会議員	佐藤 秀行
13	学識経験	白石市歴史文化アドバイザー	麻生菜穂美
14	学識経験	プランニング開代表・アトリエ自遊楽校主宰	新田新一郎
15	学識経験	白石市移住交流コーディネーター	太斎 沙織
16	地域組織	白石市自治会連合会長	紺野 澄雄
17	地域組織	斎川公民館事務長	佐藤 幸枝
18	子育て	白石刈田地区父母教師会連合会長	半沢 健太
19	子育て	子育て世代	大庭 知子

●白石市

	役職	氏名	
1	市長	山田 裕一	
2	副市長	村上 忠則	
3	副市長	大庭 豪樹	
4	教育長	半沢 芳典	
5	総務部長	佐藤 純哉	
6	総務部企画政策課長	髙橋 雅美	
7	総務部企画政策課長補佐	佐藤 弘子	
8	総務部企画政策課	引地 昭憲	
9	総務部企画政策課	佐藤海斗	

「第六次白石市総合計画」

「白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」の概要

白石市では、令和3年4月に、今後10年間の本市の目指す将来像とまちづくりの方向性についての指針となる「第六次白石市総合計画」を策定するとともに、地方創生・人口ビジョン達成に重点を置いた「白石市まち・ひと・しごと創生『第2期総合戦略』」を策定し、計画に掲げる目標達成に向けて、さまざまな事業を展開しているところです。

1 第六次白石市総合計画

「第六次白石市総合計画」は、平成 22 年度に策定した本市の最上位計画である「第五次白石市総合計画」が令和 2 年度で計画期間が終了することから、時代の潮流や地域社会環境の変化に対応した、今後 10 年間の本市の目指す将来像とまちづくりの方向性についての指針となる新たな総合計画として策定しました。

【基本構想】

時代の潮流や本市の特性、将来人口推計などを踏まえ、長期的な視野に立ち、まちづくりの基本的な考え方や市が目指す将来像を明らかにするとともに、その実現に向けた分野目標と体系を示したもの。

【基本計画】

基本構想に掲げた施策体系に基づき、重点戦略、分野目標ごとの施策の現状と課題、方向性、 成果指標及び主な取り組みを示したもの。

【まちづくりの基本的視点】

「ひとづくり」「地域力の向上」「新しい価値の創造」

【目指す将来像】

「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」

2 白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略

「白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」は、出生率の低下によって引き起こされる 人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で 住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的とする「まち・ ひと・しごと創生法」に基づき策定したものです。

総合計画、第2期総合戦略に掲げる目標を達成するため、Society5.0(ソサエティ5.0)の推進やSDGsの実現、多様な人材の活躍などを関係機関・団体などとの連携をより一層強化し、地方創生の動きをさらに加速させていくものです。

白石市総合計画・総合戦略推進委員会の役割等について

1 評価・検証の趣旨

「第六次白石市総合計画」「白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」では、計画・戦略 に掲げた目標の実現に向けた取組を推進するため、定期的な進捗状況の確認と成果の検証を行う こととしています。

本委員会において、政策等の進捗状況に対する検証・評価をはじめ、白石市の強みと弱み、魅 力と課題などのご意見をいただき、事業の見直し・改善や新たな事業の企画立案に反映させるな ど、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)という「PDCAサイクル」によ る進捗管理を行います(委員会は、「評価 = check」の役割を担います)。

2 推進委員会の検証体制

Plan

総合計画・総合戦略に掲げる目標・事業



Dο

総合計画・総合戦略に位置付けている事業の実施



Check

市による 検証

1次検証 事業担当課による検証

2次検証 白石市総合計画・総合戦略推進本部(庁内会議)



市で行った総合計画・総合戦略の評価結果を報告

3次検証

白石市総合計画・総合戦略推進委員会 (有識者会議)

市民アンケートの 結果を報告

市民 アンケート

委員会では、専門的・総合的見地から、施策の進捗状況に対する評価のほか、 様々な分野(子育て、商工、農業、観光、移住・定住、教育など)での課題や 新たに取り組むべき事業などに関する意見・助言をいただきます。



Action 委員会の意見を参考に施策や事業の見直し・改善を検討